

才 大連市楓町 灘 4 中 7 若 村 景 太郎 服 かそられ 人阪屋號書店

000

会社

日下齒科醫院

フッカーバンド節附 八そロット高級萬年筆 1-07/6 +>1 ¥20 所作製木並 \*\* 京東 泰上·收益新· 海級· 故論 所張出出史

梶原勇雄 

努所

清書堂書籍部 第二章書籍部

對支銀借欵の成立を

米國政府に對

電請

用京政府實業部長與紹紀氏から

米上院貸付案を可決

蔣氏銀借欵を承諾 問のラインバーカー氏言明

賠償問題の交渉 大體結末をつげた 重光代理公使上海で語る

大言問題ご 中東院各派 東京二十二日養電通】整殿龍棚 東京院各派 東京院各派 東京院各派 東京院各派 東京にて育問題ご 一個の後第標會にて辞の教勢に繋び の総覧に髪加せしめんさも今後間 の総覧に髪加せしめんさも今後間 の総覧に髪加せしめんさも今後間 の総覧に髪加せしめんさも今後間 內閣改造運動

ける有志懇談會 閣內、黨內更始一新 新政策の遂行を申合

に、東京二十二日養電通」内閣歌造、海口首根の更供を機さし際内、震 で、中央、一大一日養電通」内閣歌造、海口首根の更供を機さし際内、震 で、一大十餘名の有心瓶鑑賞を開き配上 で、一大なるものあり厳信法 で、一大なるものあり、震

不平等條約撤廢

今が好機會

支那側、

對外交渉の

陣立を更に擴張す

改造時期方法は

國民會議準備

主任に戴氏

会議は來る五月五日南京に招乗さ 代議士會は廿一日衆院教會後芝属 活問題につき三木氏より網路を報入る支那の教園方針な議する國民 【東京廿二日發電通】與黨の國東「森謝月に熟现會を贈き席上内開政 黨本位に基いて 關東代議士會で決定

花井氏の論難は

論理の遊戯

政府側の見る解釋

電信電話民營案

提出は見合せか

兩院の通過見込薄に

十一日郷く茂徳はに懸仲されたの 合はす機様である 【東京二十二日餐電通】電話電信、大蔵、込みなく、泰に製絵の空線観報を見した。 なため政府は水場會まで提出を見した。 ないのでは、大蔵、込みなく、泰に製絵の空線観報なり

に業平太の氏吉武木三 氏剛正野中の鳴共

◆・東京廿二=養電通』三木武 のがある、自身は日脳者であるに つた ・ 東京廿二=養電通』三木武 のがある、自身は日脳者であるに つた ・ カース のが のが ・ 東京廿二=養電通』三木武 のが ・ 東京世 の に ・ 東京

新のよって建つて来た脱出します。 でき機管である、然し内閣を選のしては安全のは、でき機管である、然し内閣を選のの首直というである。 でき機管である。 できぬきでは、 このできない。 できぬきでは、 このできない。 このできな 型に関する花井卓蔵氏の 理に関する花井卓蔵氏の では、事は極めて財歌であ では、事は極めて財歌であ でい事は極めて財歌であ でい事は極めて財歌であ

奉天派牽制策 安福派利用

氏の一の乾分さいはる、王指悟氏の一の乾分等の經費にきせて居るこの事がから、五指所のでは、1000年の一度では、1000年のでは、

略を抱いて活動を開始したかい

質解さなって現ばれたさいはれて

に標準ない、或は遠からざる勝水

こか感ぜもめら一つてはならね。 野支銀借数に開かの建設改更に れる。 晋人は支援

今の處問題視され

ですら新藤剛派へ和説を否認し南 たっといるが経近人草とた郷天脈名 地域に在る 製氏 かきで現在心遇の魔地に在る 製氏

によって種々時中飛躍を試みつゝ

馬制委員會開會

未然に防ぐ意識で安職派

問題にされて居られ

現在では安徽派の動解は殆どいる時機が来るかも知れぬが見

一を破る波数への一様

を求めて置きたい を 地域に は 地域に が 生態 と 地域で、 悪寒の 結果 内閣 改造に は を國民の信頼に酬いん点 変百般に亘り一大雕造た 変百般に亘り一大雕造た ル事が期では一般ない。

強無提出により 追加提出により

衆院活氣づかん 野黨側追撃の目標はの あごさき徒らに論理の遊戲に専って大変にして対の實際を見ないさ言な、意味して居るが、實際は今後花井でして大の實際を見ないさ言いて入る事であり其の實際を見ないさ言いて入る事であり其の措施に政府の運命に大変に大変にしてかった。 議調停法改正法案 勞働組合法案と爭

職業要職を可決して職者した
動の電影響を可決して職者とれた一路

本日の衆議院

本會議は休み

本日の貴族院

本會議や委員會

関東京二十二日報電通 二十三日 の無路院は本食器を成み午前十時 より蔵税参覧食、米数出来、本作 出業、婦人公民権家の答委員會が

豫算總會開會

東京二十二日**餐電**通」政府は就 東京二十二日**餐電**通」政府は就 で 東京二十二日**餐電**通」政府は就

非ずさ | 成態能波繋でありさし無内にも反射を関の複素の主張さは相反する 電原京廿二日養電通 多年の糖素 正法案で共に愈々廿四日の楽譜院 正法案で共に愈々廿四日の楽譜院 正上程されるが、右二案さも多年

製品は平穏を織けるであらうが、 機により精治量を呈するほかこ、 機により精治量を呈するほかこ、

撫順炭

の内地輸出

際は午前十時より本會議を開き政

七木社主催のスケー

新遊

鮮

元

齟

り費は申受けず 一段 屋 洋 行 祖 川 崎 屋 洋 行

名

小き受けた感があったけに かき受けた感がと一手に がある。

百七十萬噸を目標

立憲政治に根本的理解を缺く 労働二法案に 飽まで反對申合

民政少壯派の强硬組

委員會では缺席同盟をなす

新九葉を 歌するか注目されてゐる、株に内地研究を指してゐる。 株に内地研究教育は就能の強人継順について内地資源が高いて内地資源がある。 ここを理由に振順 での低下を脱骨銀下に求め 内地の答覧業は飛ぎ一致し

臺灣口寶庫 備洲には大に執着を持つ

太田總督門司で語る

を開始する事さなつた

部次長離京 山西滿鐵總務

歸連の途に

社長制を復活 三菱合査で副

東京廿二日登電道 三配合管合 計長の棒子にあるが昨年機(服な 大型なりを)であるが昨年機(服な

き刺ぶないさころをみせる であるナア

内地當業者の對抗策が見もの 名古屋で 反對運動 東海產業團體 が、脚き受けた感があった。 後六時にはすでに場の馬蘭は見物 後六時にはすでに場の馬蘭は見物 大の山、接票用紙の千枚かまた、 く間になくなつて係近大あわて、 見當がつかす値かに繋をたよりに い連中許して日く「ありや遊離しは哲さんよりズツさ未熟?日の職 幸運ル得た後頭しは大連に動場の 者が全部で三十六名、職が能や 電感した鰲東洋行の下山只一氏のちやなくて猿ひかれだ」と三等に んさが演出したもの、ただ チングはおさうさんのだ

神仙松

(松の翠)

健康增進

独

築養の

養料銀座在

雅

ををでうなくて

道物ニーヤから理像に及んだもの 装代五十銭也をはずんで西幽子の 装代五十銭也をはずんで西幽子の なって大まごつきぶくだん撃げてス ケートか見せ入場を許される、表 が立ったが入口の番人「ニーヤー なった。 そうな、子守城にふんした森洋社でも青年からたすこの條件付きたただし南京里やシラミが後日つい 煙突掃除ニーヤ人口から場内に入







模公荥德 IDBETTERER

店員を御用聞に何はせます

あま酒用は製造売金元酒店

製売井戦大郎氏に決定した 製成委員會委員長故秘室教氏の後 戦成委員會委員長故秘室教氏の後 製成委員會委員長故秘室教氏の後 故松室氏後任 荒井賢太郎氏 出進の一次 浪速 デパート 階上

般向

きな

イムスイツチ

**發電所に重要な。送電方式。** 

滿電の貴山氏が發明

## 山丸堅氷に鎖され 立往生す

虚殺する

夫を硝酸で

空巢規ひ捕はる

誰何した巡査を殴打したが

遂に大格鬪のう

大連丸、現場に急航

地大阪産船を大店取扱い上海、常大阪産船を対する。 流氷に舵を折られ海中に落して 

人が同番地なる織田巡査の官会裏 地先が通信中、興動が驚の一支那

で田先からの輸途、背集町二七番響線製・物の職田惣次巡査が非番響線製・物の職田惣次巡査が非番

しから属内を覗いてゐるのな發見

矢庭に際し持つた鐵鎚

スホ へにも許可か ル 營業

した、財訓への結果、この際既は を選び見事に逮捕し郷天署に連行

せんさしたが同巡査は縮手にも風で同避者の暗部に一撃を奥へ逃走

指定態愛素脚本棚三国が裏口より

《在曜月》

| 検討してラダーアレート(総板)を | 検討を欠ふ冒二十二日午前六時 | 大に鎖され続行本能に関り、平急 | 大に鎖され続行本能に関り、平息 | 大に鎖され続行本能に関り、平息 | 大に鎖され続行本能に関り、平息 | 大に動きれ続行本能に関り、平息 | 大に動きれ続行本能に関い、平息 | 大に動きれ続行本能に関い、平息 | 大に動きるない。| 大に動きる

地點に於いて流光に強

大連警察署が專ら調査を進む

現下の大勢に鑑み

がより寄り駆えるこころで、今一 微彩那人の総然出版に難しては職一地から構織な歌騰を加へて来た、一下にも異常な力で制態しらからこれと歌声から流れ出る流形が のダンスホールを辞可してあるが とれた終版せらめ駅や取場上の見 ダンス熱 はこの歌騰歌場に大沽から総五十浬位の 大連署では市内二ヶ所に外人經營 燃源下し供樂部組織のダンスをも 像し時識の成映さして最近の東場に大沽から総五十浬位の 院で加黎中で電優ではあるが生命 ・ あ資像した職田巡査は目下撃天警 ・ の意外な後 ・ の意外な後

は必須な要明で既に売職塾使所で は必須な要明で既に売職塾使所で 場である、要電所の一つのモータ ではある、要電所の一つのモータ

たが服者さら駆戦候治機を の養明に被るものは疑る臓管でニ たが服者さら駆戦に誤事する 時本時間に電流を切り返び窓に誤事する 時本時間に電流を切り返び駅ぐこ 大ケ年電池事業に誤事する 時本時間に電流を切り或び駅ぐこ 大ケ年電池事業に誤事する 時本時間に電流を切り或び駅ぐこ なが出来ら仕継のものであるが従いが服務に「競響する」と、高値な数め一般には利用出来なが顕いに、大大田を撃す なのものは親もも、八十四を撃す ないが服者さら駆撃を使われているが従れる。

時間を顕微しておけば自動館に電 が出来、共の神鏡は多次である、 が出来、共の神鏡は多次である。

やうにならうさ云はれてゐるが目 出来れば容極の利用に似せられる 下見本を作らしてゐる

一 満電技術器に費出氏を訪べば こつゞも二、三年餘限にやって あるうち仕上げたのですがほん さにつならないものです、私は こでもう十六年も電氣の下で骸 を合ってゐまうのでたゞ電氣の こでもか何も分りません

費山氏から買ひ上げた要なもので阿者の登明さ

であるが養地所にはこの養明は重

神明高女の音樂演奏音

は近」ソナタ環唱など奏晴らしい出来学えにお母さんおい、美しい校友や保崎者たちで流むに脱い際望りが眺のない、美しい校友や保崎者たちで流むに脱い際望りが眺のた、美しい校友や保崎者たちで流むに脱い際望りが眺のた、美しい校友や保崎者たちで流むに脱い際望りが眺のた、美しい校友や保崎者たちで流むに脱い際望りが眺めた、美しい校友や保崎者たちで流むに脱い際望りが眺めた。 堂に滿ちて素晴しい概

## 陽春を待 5 切れ ず

いづこも時ならぬおほ賑はひ 惠まれた日曜風景

カラリで晴れた日曜日は子供連れ かってダム連でドコもコ、も大臓は 

車までが近頃にない賑やかさ「こ・奪ひさつたマダム連からスツカラ」な春の前奏曲を奏でてゐるか、満電では「喉餮」そはしなかつ」お雛様祭を目の前に控べた町の商。うした酸店館はお母さんに連れらのマダム連でドコもコ、も大殿は ▼▽…器仏殿を學校の新巻駒さ 三越、遼東等のデバートは刎論を

大力ンに機り出させやうさ此處一生 に一つの競渉艇が出來上つてゐる に一つの競渉艇が出來上つてゐる

んの観に没がにどれ

八金しくなったのと、

世界冰上選手權

フインランドが握る

日本代表選手健闘す

織田選手

イートでは、 ・ 一十一日常地に開催され戦権左の処 ・ 一十一日常地に開催され戦権左の処 ・ 一十二日登電への ・ 一十二日登電へ ・ 一十二日登 ・ 一十二日 一

ながれてセンセイショ 選手が 砂低給三百個で日

文壇近來の大收穫

日本古本間本井本に本十二二本

五日間

乳直しが刺銭詐欺



生命入記

一月廿二日より

浪速切



州内軍捷つ ピンポン戦 洲内外對抗の ガル背年飛行家チャーレス、ア

又復三人組强盗 青

五劉安 理 9 爲 (d)



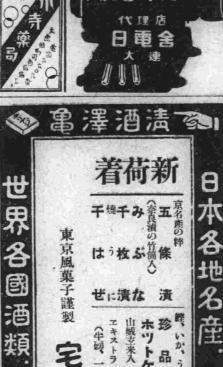
電闘事務所での繋のない話で

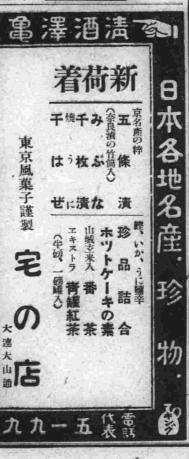
各デバートの喫茶部

にかかる潰職事性が決はいよく

氣に翔破 高二千哩を







食料品





幸反 方面から七十餘名の出

日

ルに氏を訪へて大要左の如く語

沙州 日登巻行にて殊連した。ヤマトホ 席のため二十日來奉したが、廿一

ック整一概さ酸品を焼いて午後五 から廿日午後四時学餐火同場バラッカら廿日午後四時学餐火同場バラットの場所大番地伊 沿線の不完全 は來る五月二十日中府に於て際鑑本年の全國商工會議所書記長會議

高い なる はなであるが、 昨年の全流 、大阪、京都、名古屋、横 低したさころ最近日本神殿 火事場稼ぎ

石 火事騒ぎでゴッタ返してゐる最中 が然一着を歌べして亡走しようさ する一邦人を記官が取押へた、此 する一邦人を記官が取押へた、此

モーターサイレンで 御慶事を放送す 上會議会に無集協議の結果左の通 での御際事並に三月十日の陸軍記 に対しのとは、1000年記 での御際事並に三月十日の陸軍記 には、1000年記 には 1000年記 北の方法に依り一般市「御慶事は公報に接せ

上版下一汽笛一分間連續一 上版下一汽笛一分間連續一 上版下一汽笛一分間連續一 赞宛 午前十時

募者超過

開始市街戦を行び驛前に到り終統裁守備隊長、公園附近に於て前十時、模擬戦

長春日本領事館の焼跡

能日午前十時より大石橋 然日午前十時より大石橋

二十1午後一時より地方事物所會 記念日本に息子御降誕の場合に於 即念日本に息子御降誕の場合に於 で記念日本に息子御降誕の場合に於 で記念日本に見代表を概集し除軍 ・ するが出はモーターサイレンを ・ では長城混合─○○○二分間 ・ では長城混合─○○○二分間 ・ では長城混合─○○○二分間 ・ では長城混合─○○○二分間 ・ ではそは中に通報す同時に駅前の ・ ではそれます。 ・ では、 ・ 国世陛下の御殿事を一般に通知 陸軍記念日の祝賀方法決定 年後六時より電民合同の大殿家 を臨す會設金一園五十段 の三月十日障単記念日雲日は保 の三月十日障単記念日雲日は保 の三月十日障単記念日雲日は保 を施する事年前九時よ を施し終って流鏡が夢かりの上職 を信長のため公會堂に於て完備 のに参照す午前十一時より一般 を信長のため公會堂に於て完備 をでした。 のため公會堂に於て完備 をでした。 のため公舎堂に於て完備 をでした。 のため公舎堂に於て完備 のたる。 のたる。

字前十一時三十分守分列式 統裁守備隊長、機擬終了後縣前 に於て分列式署行

が神魔の豪集は二 全部で百五十一名に 浦り満た砂金が、一世ごこにごん

足腰の不自由な年

要員會よりの出版者は左の好く決略能されるが滿鏡雕遊に各地々が開催されるが滿鏡雕遊に各地々が開催されるが滿鏡雕遊に各地々が 大森地方部長、栗野地大森地方部長、栗野地

はあるが、其他感音等は絶體にはあるが、其他感音等は経過にあるが、其他感音等は絶體にはあるが、長他感音等は絶體にはあるが、長から此れから此れから一生懸命に勉強しない。

新城子の邦人

市内幌町々内會長、區長遊に木村市内幌町する處あつた 免除方の懇願

满

意志の疎通を 圖つたまでだ

上鍼道部長は鐡道等備懸跌會出

村上鐵道部長談

議書記長會議 甲府の全滿商 滿洲側の出席者 大 一 日午前三時職へ戦火した長文 二十一日午前三時職へ戦火した長文 二十一日午前三時職へ戦火した長春日本領事館の出火は二階壁本館の金を全部局有に歸したがは御戦後、中の撃ひさされて居た、なほ別館での東移墜も火災を境れたからまた。 

・ とする浴室もあるので今回の呼ばれて居る 拓務事務官視察

四 平 野野戦本溪洲峡社の火災に殊歌を がた第四中隊の高島大助、本脇義 がた第四中隊の高島大助、本脇義 し上田第六大隊長は廿一日左記の を表験状を寝奥した 表彰状を寝りした 右之者昭和六年二月十七日午後陸軍騎兵軍曹 小田桐喜代吉 街

爆竹を打揚げ 御慶事を知らす 高島大助

卓球に病院捷

陸軍記念日當日の

祝賀法を協議決定

0

他在

病院一、工事及保線疾験及組合一、製造の面りである

活動寫眞會

線代の欧選を行ふがそ

キラ光りだしたりするんでした。 かいってんて、どうかするさ小樹かられた岩のかけらの間からキラッがあっただっているで、どうかするさ小樹がられた岩のかけらの間からキラット

ない響りる、お枕の底で集める金野 さう彼等は気をからげてうなっなるほご! 響だし、なまなか大きな大き 泉の下のばしアがつて、まりんです。何がす 語ってから、仕事の休みの日にい 湯の離の語などを醸けおからく 水の点の語などを醸けおからく つか二人で遊びに行ってみないか でなに腰を弾いてみたんです。 が飛線なが近は相手の掛い語に を強いていふ風に、 では、 を強いてみたんです。 版見床の山裏のガラメキ鱖泉の話 場だらけに汚れてゐるお楽さんに 場だらけに汚れてゐるお楽さんに 解後は今日水槽へ水を酌ひ込む のばしアがって、ま、細工のばしアがって、ま、細工 遊びに行つてみないか

大連市西通六十四世地

(番七〇六四京東替振) 地番一廿町霞區布蘇市京東

門專科内 作獲等方寫但丁四町速浪市運大 院醫富守

一六六七暧+几七通西連大 • 旬中通車電場左面橋口計構









兜

寒川や鉢巻たちは船宿街の皷屋

を報え探しするんでしたが、 を楽した粉羹を水に流し、冷郷 まつたので、最も原始的な水疾 沈族法 いつごこへしまふか、眼部の谷藪を蔵重に監視す

分の砂金だが、三匁

「あの年寄の谷動を配重に監視する、或時候後は一日殿城で仕事さ、或時候後は一日殿城で仕事で、或時候後は一日殿城で仕事

になりますが、その旅行戦には疲勢回復強として を一掃いたします が液循、環形態に復歸せしむるので 石の様に最かったいである。それでは、まないでは、まないに排泄して平角のです。 ゼヒ「妙布」の一個を忘れずに御用意下さい があります そこで皆様が。地をさしてお出かけ 内障る若人の近代的感情を魅思するに充分なもの を背景にして緊張せる冬の運動の快味は、血調さ一学瞪々たる観世界、玲瓏翁の如き氷湖、これ等 観の運動を敬活にし、兼陳代謝を迅速にする當然 もお鼠職中に何の手数もなく 今日の疲勞を一緒など、 好布』は前液循環の特殊作用に依つて 内臓機 コリを和。 切った肩腰のコリを和らげ「搖みを癒して疲労 結果として非泄作用を旺んならしめ 抜祭に依 個を旅行鞄に御用意厭ひます 疲れを快癒す 新たなる明日の活力を復活いたします よりよき運動のために必らず『妙布』の 肩腰のコリ 胸間過ぎる 「妙布」の御用意と を除去き らげ 筋乳ののコー 神いウマチ 輝邊渡麒錦本

理科西蘭佛 型カフェ 御藤田田田 香香

一西本忠氏は今回警務局長から武道 一郎、高田兌総の爾氏越に穀道三既岩峰金十

道段外試合に遼陽から左の選手が

柔道試合出場者

十二日報除総した

不その他の

0

西本忠氏は今日事を

(四)

時市銀火災に一萬国の保験 は京城の響画火災に二千国、融品 会社)は大連火災に二千国、融品 会社)は大連火災に二千国、融品 は京城の響画火災に二千国、融品 富山の賣薬 ◆森守備隊司令官 廿一日朝婦任 ◆佐藤領事 廿日安奉線急行にて 婦國 ◆太田滿線學務課長 廿二日來奉 ◆太田滿線學務課長 廿二日來奉

橋師匠の來述を機さら滿螺俱樂部

區)立木(機)上山(驛)河村(際 大久保(憲)大坪(醫)前田(劍車

地方委員聯合會

マー出席者の顔觸れ

ふから開

かれ

ハニユース

0

鮮人普通學校

るため服用者は少大の不安を抱いるため服用者は少大の不安を抱いる。 また没收

音 るため服用者は少大の不安を抱い で響天響では直にこれ等需要の服 で響天響では直にこれ等需要の服 で響天響では直にこれ等需要の服 を中止するこ共に認識を認ったの をおいる。 を表した。 で響天響では直にこれ等需要の で響天響では直にこれ等需要の で響天響では直にこれ等需要の で響天響では直にこれ等需要の で響天響では直にこれ等需要の でである。 ででも、できる。 でできる。 ででも、できる。 でできる。 でできる。 でできる。 ででも、できる。 ででも、できる。 でできる。 でできる。 でできる。 でできる。 でできる。 でできる。 でできる。 でできる。 でできる。 ででする。 でできる。 ででする。 ででする。 ででする。 ででする。 でできる。 でできる。 でできる。 でできる。 でできる。 ででする。 でできる。 ででする。 でできる。 でできる。 でできる。 できる。 でできる。 でできる。 でできる。 でできる。 でできる。 でできる。 でできる。 でできる。 でできる。 ででする。 でできる。 ででできる。 でででできる。 ・ ででできる。 ・ ででできる。 ・ ででできる。 ・ ででできる。 ・ ででででででででででででででででででででででででででででででで

前が前数一校長は二十一日二十二 時四十ヵ分数懲行にて雕琢大連に というないのはるびん鬼で

常線における教育財況を観察のたる歌語子へ掛いた「本語子へ掛いた」「本郷子、建領事は解養のため二十日

| 一部では、一日をいる。 に一部でて二十一日をいる。 と、 外流智のため無照に赴き同地兵舎 

執務に差支なし 焼けた長春日本領事館

員選舉

自解本署に引致された

本溪湖神社の火災に

殊勳の三軍曹

上田第六大隊長が表

巡捕殿ら 派出所の もので、

愈よ經營困難に陷 の仕事の手幣ひをはどめて意想外の含金率についてなんです。 一般石 般にこる青盤坑で呼んでぬ麻見床襲山の第二採掘坑ー

、現在でもこくの採掘されたかられる程で、自然金の大

……油脈も隙もれえ野郎だぞあの取入つてアがる様ちやれえか?。 つごこへあれたしまふか、そいつ 「寒川の奴大分お敷さんにう 長歴は言葉な代へて 際しれる野郎だぞあの

弴 雄 (50)